

令和3年度 学校経営計画

津幡町立英田小学校
校長 稲垣 優子

1 教育目標

(1) 校訓 進取・敬愛・剛健

(2) 教育目標 『進取・敬愛・剛健』の校訓の精神を基調とし、
「自ら学び・心豊かで・たくましい児童の育成」をめざす。

(3) めざす児童像

進取	考える子	・自ら課題を持ち、進んで解決しようとする子 ・よく考え、豊かにかかわり合って学ぼうとする子
敬愛	思いやる子	・他のよさを認め、共に伸びようとする子 ・相手の立場や気持ちを考え、行動しようとする子
剛健	たくましい子	・心身共に健康で積極的に実践しようとする子 ・めあてに向かって粘り強く取り組もうとする子

(4) めざす教師像

- ・自己研鑽に励み、教育実践を進める使命感のある教師
- ・家庭や地域と連携し、一人一人の成長を見つめ、共に歩む人間味ある教師
- ・主体的・協働的・創造的に学校運営にかかわる教師

2 中・長期的教育方針

(1) 現状

①学びの育ち

- ・学習規律は少しずつ身に付いてきているが、個人差がみられる。
- ・与えられた課題には真面目に取り組める児童は多いが、主体的な学習意欲や思考力・判断力・表現力には向上の余地がある。

②心の育ち

- ・明るく元気で、異学年とも楽しくかかわることができる。
- ・規範意識がやや低く、きまりを守る意味の理解・正しい行動の価値付けが必要である。
- ・思いやりや配慮に欠けたり、時と場に応じた言動ができなかったりする姿がみられる。

③体の育ち

- ・運動に親しみ、屋内外で活発に遊ぶ児童が多く、給食の残食は少ない。
- ・早寝早起き、家庭での学習時間、ゲームやTVなどのメディアとかかわる時間等の生活習慣の定着

に課題が多い。

- ・運動量や姿勢の保持につながる体幹の鍛えに個人差がみられる。

④学校組織・運営、その他

- ・児童の成長を願い、誠実かつ熱心に取り組む教職員の姿勢がみられる。
- ・各自が役割を果たすだけでなく、互いのすき間をうめる協働の意識は高い。
- ・講師など若手が多いものの、指導力・授業力向上をめざす意識は高い。
- ・地域や保護者と連携を深め、地域のよさを生かす教育実践を継承している。

(2) 教育方針

- ・自ら学び自ら考えて行動できる子を育てる教育の推進 : 自主・自律、生きる力の育成
- ・確かな学力を育み、個を伸ばす教育の推進 : 基礎学力の定着と指導力の向上
- ・豊かにかかわり合い、互いに高め合う教育の推進 : 潤いある教育環境づくり
- ・心身共に健康でたくましい子を育てる教育の推進 : 健康安全教育の推進
- ・地域と共にある学校として連携を重視した教育の推進 : 信頼される学校づくり

3 今年度の目標

児童・保護者・地域から信頼される「活力ある学校」をめざして
～行きたい、行かせたい、行ってみたい学校～

めざす姿の共有 → 共通の指標・行動・実践 → 成長の実感 → 実感

(1) 確かな学力は確かな授業力から

* 明るく楽しく学び合える学級集団づくり

* ねらいにせまる授業づくり

(2) 温かな絆と心の居場所づくり

* 規範意識・自己肯定感・自己有用感の向上

* 豊かな心の育成

4 今年度の重点目標及び主要な具体的取組

(1) 授業力向上と学力の定着

- ① 指導力向上と基礎学力の定着を目指した学校研究の充実
- ② 学習規律の確立
- ③ 読書活動の充実
- ④ 小・中の一貫した指導を見据えた英語教育の充実

(2) 豊かで健やかな心身の育成

- ① 気持ちのよい挨拶，時と場に応じた言葉遣いへの指導
- ② 自己肯定感・自己有用感を高める人間関係づくりの推進
- ③ いじめの未然防止と早期発見，迅速・組織的な取組の確立
- ④ めざす姿の共有と，規範意識の向上を図る，児童発信型の取組の推進
- ⑤ 児童の主体性・創造性を高める特別活動の推進
- ⑥ 体力の向上・健康の保持増進
- ⑦ 児童理解に基づく個に応じた特別支援教育の充実

(3) 家庭・地域と共にある学校

- ① 関係機関と連携した，信頼される安全・安心な学校づくりと危機管理体制の確立
- ② 生活習慣の定着に向けた家庭との連携強化
- ③ 学習習慣の定着に向けた家庭との連携強化

(4) 組織的な学校運営

- ① G I G Aスクール構想実現に向けた取組の推進
- ② 教職員の働き方改革のための効果的・効率的な業務改善
- ③ P D C Aサイクルを活かした校務部会運営と常に改善していく学校